

絆

—きずな—



仙台市立北仙台中学校

第3学年だより

第2号

令和5年4月13日

着任式・始業式の様子 ～最高学年にふさわしい態度で臨みました～

コロナ禍の影響によりリモートで行われることの多かった全校集会ですが、今年度は久しぶりに2・3年生が一堂に会し、着任式・始業式を行うことができました。

始業式では3学年を代表し、2組のIHさんが「1学期の抱負」を発表しました。以下に掲載しますので、是非お読みください。



「1学期の抱負」

今日から、中学校生活最後の1年が始まりました。そこで、最高学年としての今年度の抱負を、学年全体と私個人についてお話ししたいと思います。

まず、学年全体の抱負は二つあります。一つ目は、責任ある行動を取ることです。今年度は最高学年になるので、後輩の手本となったり、まとめたりする場面が、これまでより増えると思います。そこで無責任な軽々しい行動を取ってしまうと、後輩に示しがつかなくなってしまい、うまくまとめることができません。だから、一つ一つの行動に責任を持ちたいです。

二つ目は、学年全体の団結を高めることです。今年は修学旅行や、中学校生活で最後になるような行事がたくさんあります。そんな行事も、皆がバラバラでは良いものになりません。学年全体が一つのチームとなって行事などの物事に当たっていけば、必ず良いものになると私は思っています。さらに、今年度は受験があります。「受験は団体戦」という言葉どおり、ここでも皆が一つになって、互いを支え合いながら、受験という壁を乗り越えていきたいです。

私個人としての抱負は、弱い自分に勝てる強い自分を育てることです。私の中の弱い自分とは、ささいな失敗や小さな間違いでも過剰に落ち込んでしまう自分、嫌なこと、面倒なこと、苦手なことからすぐ逃げてしまう自分のことです。

前述したとおり、今年度は受験生です。受験に向けて準備する中で、どうしても、失敗をしたり、嫌なことであればならなかったり、自分にとって苦しい場面が出てくると思います。そのときに、今までのように弱い自分のまま逃げるようでは、成長は望めません。だから、これからは、弱い自分に勝てるくらいの強さを自分の中で育て、目の前の困難に向き合い、成長していきたいです。

昨年度末の学年集会で、ある先生が西洋のことわざを教えてくださいました。「3月の風と4月の雨が5月の花を連れてくる」。これは、「厳しい時期を乗り越えると、幸せが待っている」という意味になります。この言葉を胸に、困難の乗り越えた先に明るい未来がきっとあると信じて、中学校生活最後の1年を頑張っていきたいです。

3学年代表 IH

おしらせ

～修学旅行の参加申込書は4月17日(月)まで、振り込みは4月20日(木)まで～

修学旅行に参加される場合は、別紙「第3学年修学旅行参加申込について(お願い)」を御確認の上、「参加申込書」及び「修学旅行のための事前健康調査」を4月17日(月)までに御提出ください。また、食物アレルギーがある場合は、「アレルギーお伺い書」も併せて御提出くださいますようお願いいたします。

なお、費用については1月に配付済みの振込用紙にて、4月20日(木)までにお振り込みください。

入学式が行われました ～会場準備を頑張りました～

4月11日(火)に第54回入学式が行われました。3年生は、会場となる体育館の準備を頑張りました。フロア清掃、ステージ装飾、紅白幕の準備、パイプ椅子並べ、教科書の運搬と、やるべきことが盛りたくさん。それでも、互いに声を掛け合い、一生懸命に準備する様子が立派でした。

また、在校生を代表し、生徒会会長のKHさんが歓迎の言葉を述べました。以下に掲載しますので、是非お読みください。

「歓迎の言葉」

例年より早く桜が咲き、暖かい日差しがふりそそぐ季節となりました。新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。私たち在校生は、皆さんの入学を心待ちにしていました。

今、皆さんはどのような気持ちでしょうか。初めて見る校舎、初めて会う先生、初めて話す友達。その中で、楽しみなこと、不安なこと、それぞれあると思います。しかし、大丈夫です。私たちも最初は同じでした。先生方も、友達も、私たち在校生も、全力で皆さんをサポートします。ですから、安心して、たくさん挑戦してください。勉強や委員会、行事、部活動など、楽しいことも大変なこともあると思いますが、中学校は、未来へ向けてしっかりと準備する時間です。正しい判断のもと、やりたいことを積極的に行い、有意義な中学校生活を送ってほしいと思います。

皆さんが入学するに当たって、気になることのひとつに、勉強が挙げられるのではないのでしょうか。勉強面では、教科が増え、小学校のときとは異なり、教科ごとに担当の先生が変わります。分からないところは先生に質問をしてみましょ。北仙台中学校の先生方は分かるまで、丁寧に教えてくださいます。また、家での予習、復習をしっかりと計画的に勉強を進め、定期テストに備えてこつこつと準備をしていくことが大切です。皆さんならきっと、自分の未来を自分の手で切り拓いていくことができると思います。

部活動では、私たち在校生は目標に向けて、一生懸命練習に励んでいます。試合に勝つことだけでなく、仲間と協力する喜びを感じることが出来ます。練習についていけるかな、周りとうまくコミュニケーションがとれるかなと、不安もあるとは思いますが、先生、先輩がしっかりサポートをしてくれるので安心してください。

さて、皆さんは、この北仙台中学校にある「三大大行事」を知っていますか。北中発表会、北中祭、運動会。仲間と協力できる楽しい行事があります。皆さんの力が必要です。中学校では、自分で考え、自分から動くことが大切です。コロナウィルスの影響はまだありますが、今できることを精一杯楽しむために、積極的に参加してください。例えば、合唱コンクールと北中祭。コロナ禍で開催が難しい状況になってしまったので、この二つの行事を合わせて、北中発表会というものが行われています。各クラスの綺麗な歌声、吹奏楽部のすばらしい演奏、総合文化部の個性豊かな絵、生徒会企画の面白い発表。どれもコロナ禍前とは違った楽しさがあると思います。ぜひ、一緒に最高の行事を作り上げていきましょう。

中学校生活はあっという間です。悔いの残らない、楽しい三年間にしてください。新入生の皆さんの個性が花開くことを期待し、歓迎の言葉といたします。

令和5年4月11日 在校生代表 KH

【会場準備の様子】

